

作成日 2016/04/28  
改訂日 2019/12/16

## 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	シートトップ100 白
製品コード	002041
整理番号	HNT0032316-3
供給者の会社名称	東日本塗料株式会社
住所	124-0006 東京都葛飾区堀切3丁目25番18号
担当部門	品質保証部
電話番号	0480-65-5880
FAX番号	0480-65-5798
緊急連絡電話番号	0480-65-5880
推奨用途及び使用上の制限	塗料

2. 危険有害性の要約  
GHS分類

健康有害性	急性毒性(吸入:蒸気) 区分4 発がん性 区分2 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(呼吸器) 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。
-------	---

## GHSラベル要素

## 絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	H372 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器の障害 H332 吸入すると有害 H351 発がんのおそれの疑い
注意書き 安全対策	ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。(P260) 取扱い後はよく手を洗うこと。(P264) この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270) 使用前に取扱説明書を入手すること。(P201) すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。(P202) ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。(P261) 屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。(P271) 保護手袋を着用すること。(P280)
応急措置	気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。(P314) 吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340) ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。(P308+P313) 気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P312)

保管  
 廃棄  
 施錠して保管すること。(P405)  
 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報  
 化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
酸化チタン(IV)	10~20%	-	有り	既存	13463-67-7

分類に寄与する不純物及び安定化添加物  
 情報なし

労働安全衛生法  
 名称等を通知すべき危険物及び 酸化チタン(IV) (法令指定番号:191) 有害物(法第57条の2、施行令 (13.2%) 第18条の2第1号、第2号別表

4. 応急措置

吸入した場合  
 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。

皮膚に付着した場合  
 水と石鹼で洗うこと。  
 皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合  
 気分が悪い時は、医師に連絡すること。  
 水で数分間注意深く洗うこと。  
 眼の刺激が持続する場合、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合  
 口をすすぐこと。  
 医師の診断、手当てを受けること。

5. 火災時の措置

消火剤  
 この製品自体は、燃焼しない。  
 泡、噴霧水、乾燥砂、粉末、炭酸ガス  
 情報なし。

使ってはならない消火剤  
 情報なし。

特有の危険有害性  
 危険でなければ火災区域から容器を移動する。

特有の消火方法  
 消火作業の際は、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

消火を行う者の保護

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置  
 関係者以外は近づけない。

環境に対する注意事項  
 作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や吸入を避ける。  
 立ち入る前に、密閉された場所を換気する。  
 直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。  
 河川等に排出され、環境へ影響を起こさないように注意する。  
 危険でなければ漏れを止める。

封じ込め及び浄化の方法及び機材



危険有害反応可能性  
避けるべき条件  
混触危険物質  
危険有害な分解生成物

通常の条件では危険有害な反応は起こらない。  
加温、凍結  
危険有害反応可能性参照  
情報なし

11. 有害性情報

急性毒性

吸入

(蒸気)ATEmix=(100% - 99%) / ((0.086% / 1  
1mg/l) + (0.086% / 7.4mg/l) + (0.086% / 2  
9mg/l)) 計算結果が11mg/lのため、区分4に該  
当。  
データなし

皮膚腐食性及び皮膚刺  
激性

データなし

眼に対する重篤な損傷  
性又は眼刺激性

データなし

呼吸器感受性

データなし

皮膚感受性

データなし

生殖細胞変異原性

データなし

発がん性

二酸化チタンが13%≥1%のため、区分2に該当。

生殖毒性

データなし

特定標的臓器毒性(単  
回ばく露)

データなし

特定標的臓器毒性(反  
復ばく露)

二酸化チタンが13%≥10%のため、区分1(呼吸器  
)に該当

吸引性呼吸器有害性

データなし

12. 環境影響情報

水生環境有害性(急性  
)

データなし

水生環境有害性(長期  
間)

データなし

オゾン層への有害性

モントリオール議定書の付属書に列記された物  
質を含まない。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の  
基準に従うこと。

都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処  
理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行  
っている場合にはそこに委託して処理する。

汚染容器及び包装

容器は清浄してリサイクルするか、関連法規並  
びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行  
う。

空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去  
すること。

14. 輸送上の注意

国際規制

海上規制情報  
Marine Pollutant  
Transport in bulk  
according to  
MARPOL  
73/78,Annex II ,and  
the IBC code.  
航空規制情報

該当しない  
Not applicable  
Not applicable

国内規制

該当しない  
取扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従  
う。  
陸上輸送 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に  
該当する場合は、法令の輸送について定めると  
ころに従う。

	海上輸送	船舶安全法に定めるところに従う。
	航空輸送	航空法に定めるところに従う。
	陸上規制	該当しない
	海上規制情報	該当しない
	海洋汚染物質	非該当
	MARPOL 73/78 附	非該当
	属書II 及びIBC コー	
	ドによるばら積み輸	
	送される液体物質	
	航空規制情報	該当しない
緊急時応急措置指針番		なし
号		
15. 適用法令		
化審法		優先評価化学物質(法第2条第5項)
労働安全衛生法		作業環境評価基準(法第65条の2第1項)
		名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第5
		7条第1項、施行令第18条第1号、第2号別
		表第9)
		名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第5
		7条の2、施行令第18条の2第1号、第2号
		別表第9)
水質汚濁防止法		腐食性液体(労働安全衛生規則第326条)
		有害物質(法第2条、施行令第2条、排水基準
		を定める省令第1条)
		指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3
		)
消防法		非危険物
悪臭防止法		特定悪臭物質(施行令第1条)
大気汚染防止法		有害大気汚染物質に該当する可能性がある物質
		(中央環境審議会第9次答申)
		揮発性有機化合物(法第2条第4項)(環境省
		から都道府県への通達)
		揮発性有機化合物 法第2条第4項(平成14年
		度VOC排出に関する調査報告)
海洋汚染防止法		個品運送P(施行規則第30条の2の3、国土
		交通省告示)
		油性混合物(施行規則第2条の2)
		危険物(施行令別表第1の4)
		有害でない物質(施行令別表第1の2)
		有害液体物質(X類物質)・油性混合物(施行
		令別表第1第1号イ(81))
		有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1)
		有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1)
		輸出貿易管理令別表第1の16の項
外国為替及び外国貿易		
法		
特定有害廃棄物輸出入		特定有害廃棄物(法第2条第1項第1号イ、平
規制法(バーゼル法)		成30年6月18日省令第12号)
水道法		有害物質(法第4条第2項)、水質基準(平1
		5省令101号)
労働基準法		疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第
		35条別表第1の2第4号1)
		感作性を有するもの(法第75条第2項、施行
		規則第35条別表第1の2第4号、平8労基局
		長通達、基発第182号)
16. その他の情報		
連絡先		東日本塗料株式会社
参考文献		溶剤便覧

その他

製品評価技術基盤機構(NITE)

メーカーSDS

日本工業標準調査会「JISZ7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」

日本工業標準調査会「JISZ7252 GHSに基づく化学品の分類方法」

日本塗料工業会編集「容器イエローカード(ラベル方式)塗料マニュアル 改訂版」

日本ケミカルデータベース製物質データベース

[注 意] 危険性・有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。

この製品の製品安全データシートの記載内容のうち含有量、物理化学的性質などの値は、保証値ではありません。

記載内容は現時点で入手できる資料、情報に基づいて作成しておりますが、すべての化学品には未知の有害性があり得る為、取扱いに当たっては細心の注意が必要です。

注意事項は通常の手取扱いを対象としたものである為、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上ご使用下さい。

又それらが実際の使用状況に相応しているか、環境保護の目的にそっているか、あるいは貴社の従業員の方々や貴社製品購入者の健康・安全を損なわないか等については、貴社の責任にてご判断願います。